

これだけは覚えよう！重要ポイント

数直線の法則

右にある数 $>$ 左にある数

不等号

 $a > b, a < b$

負の数の大小

 $-5 < -1$ (左が小さい)

Q. 負の数の大小は？ 負の数どうしは絶対値が大きいほど値は小さい。数直線で左にあるものが小さい。

① 正の数どうし

基本

普通の大小比較。数字が大きい方が大きい。

$$5 > 3, 10 > 2$$

② 正と負

基本

正の数は常に負の数より大きい。0は中間。

$$3 > -5, 0 > -1$$

③ 負の数どうし

最重要

絶対値が大きい方が小さい（数直線の左側）。

$$-1 > -5, -3 < -1$$

④ 複数の数の大小

応用

不等号を繋げて左から右へ大きくなるように並べる。

$$-5 < -2 < 0 < 3$$

💡 ミス回避のコツ

⚠️ 負の数の大小を逆に

✖

$$-5 > -1$$

○

$$-5 < -1$$

数直線で確認！-5は-1より左にある（小さい）。

⚠️ 不等号の向きミス

✖

$$3 < -5$$

○

$$3 > -5$$

正の数は常に負の数より大きい。口が開いている方が大きい数。

最終確認チェックリスト

- 数直線で右が大きいことを理解したか？
- 負の数どうしは絶対値が大きい方が小さいことを理解したか？
- 不等号 $<$ $>$ の向きを正しく使えるか？